

原発なくせ17万人、上伊那から200人

伊那民報

発行

日本共産党

伊那市委員会

伊那市狐島3879

有線も(72)2465

たたかいはさらに広げ



たくさんの団体ののぼりの中に「日本共産党上伊那地区委員会」も

集会後のデモは、新宿駅に向けての約2・7kmのコース。大勢の参加者の中、終了までに約3時間かかりました。道行く人、車中の人に「原発再稼働を中止せよ」「原発を廃炉にしよう」などと呼びかけました。

集会参加者からは、「久しぶりに大集会に参加できてよかった」「福島原発事故での多数の避難者の救済を優先しろ」「近くの中部電力にはたらきかける集会もしよう」「9月9日の箕輪の『原発NO!3回目』のデモ」も大成功させよう」などの感想や意見が出されました。



長野県・上伊那地域を駆けめぐりました。三沢よしお長野5区候補と終日一緒

箕輪の後、午前11時アピタ伊那店前で街頭宣伝。消費税、TPP、原発について訴えました。

次に、カフェ&カイロ有報堂に移動しての、ランチ&トーク企画。はじめに、みんなで「特別！創作！藤野ランチ」を食べました。

デザートは「ティラミス」。イタリア語で、tiramisù(引く張る)mio(私を)su(上へ)という意味だそうです。私も初めて知りました。つまり、「国会へ引つ張り上げる

東奔西走記

衆議院比例代表予定候補

藤野やすふみ



「ガンバレゾロ」の文字を飾ったティラミスの前に必勝決意

明日は、関西電力と日本原電に、ゼロの申し入れを行います。(7月22日記)

デザート」とのこと。たつぷりいただきました！

終了後、若い男性に入党のお誘い。快く入っていたいただきましう！「一緒にがんばりましょう！」と固く握手させていただきました。今日一日で、3人の方に党に入っていたいただきました。

地蜂

「さようなら原発一〇万人集会」に参加した。三三度という炎天下、九〇歳の瀬戸内寂聴さん、八一歳の澤地久枝さん、七七歳の大江健三郎さんたちが次々に原発廃棄を訴えた。大江さんは七八〇万人の署名を届けた翌日に大飯原発再稼働が政府から発表されたことに「国民は侮辱された」と怒りをあらわにした。三コースに分かれた一七万人のパレードと沿道の声援で東京は「原発なくせ」の声で包まれた。毎週金曜日に官邸前には一〇万人前後の市民が自主的に集まり抗議を続けているが、この日はその倍もの国民が全国から集まった。呼びかけ人は年配者たちだが、母親世代や若者が多く、六〇年安保以来の国民的運動ということ、植民地主義的なオスプレイ配備・飛行訓練開始に対する怒りと重なり、怒りがいつ噴火するか分からないというエネルギーを感じた。たたかう年配者といえ、今年五月には、映画界の巨匠新藤兼人さんが百歳の生涯を閉じた。九九歳で作った最後で最高の傑作映画が「一枚のハガキ」である。この映画は百人の兵士のうち六人しか生き残らなかったという自身の体験を映画化したもの。この映画が八月五日(日)の午前一〇時から伊那市創造館で上映される。ぜひ、多くの人に観て欲しい。(Y)

被災地への支援続く

党上伊那地区委員会の第15次被災地支援は7月7日～9日に行われ、40代～70代の男女7人が参加しました。

支援先は、今回も岩手県釜石市



第15次支援隊のみなさん
釜石市鶏住居町の仮設住宅前で

で、鶏住居（うのすまい）町川目仮設住宅で青空市を行いました。

一日目は大雨で大変でしたが、二日目は打って変わった青空の下で、皆さんから寄せられたお米や野菜、タオルケットや蚊取り線香・トイレトペーパーなど、日用品

新ゴミ処理施設、

7月6日に開かれた第10回施設整備検討専門委員会は、新ゴミ処理施設について、ガス化炉を含む2つの炉の最終報告を決めました。8月に広域連合全員協議会に報告した後、来年3月に正式決定しました。

総選挙で党の躍進を 創立記念祝賀会

今年、日本共産党は創立90周年を迎えました。上伊那地区では記念祝賀会が7月14日、西町公民館で70人余が参加して開かれました。小林伸陽県議、三沢よしお五区予定候補のあいさつの後、五〇年と三〇年間活動してきた党員の永年党員表彰や新入党員、転入党員の紹介が行われました。

その後の祝賀会では笛師九兵衛さんのデュエット「あるみかん」の楽器演奏と歌に続いて全員が腕を組んで大合唱するなどして、近づいている衆院選で長野五区の三沢よしお、比例区のお、藤野やすふみ両候補を必ず当選させるとの決意を固めました。



参加者が腕を組んでの大合唱

を多くの方々にお渡しすることができました。

同行した長谷の笛師九兵衛さんと北原有さんの楽器演奏などのパフォーマンスを路上ライブとして楽しんでいたいただきました。

今回の支援日程は未定ですが、決まり次第お知らせしますので、ご協力をお願いします。

住民の声聞いて

うとしていきます。

しかし、住民からは「地元説明や建設同意等は、充分時間をとってほしい」「ごみの減量化を徹底的に行い、施設規模はできるだけ小規模に」「処理方式を住民の意見を聞かずに2つに絞ったのは問題」などの指摘や意見が30件余も出されています。

また、この間、広域連合の議会では、ゴミ問題の議決をしたことが一度もありません。これまでの利益誘導体を主体にしたゴミ処理施設建設は、技術頼みの民意排除でやられてきました。

共産党の前沢市議は、「ガス化炉は購入費・維持費が高く、故障も多い。また、ゴミを減らすのではなく、増やさなければなら

「原発ノー」「被災者救援」求め

網の目平和行進

2012年核兵器廃絶の「上伊那網の目平和行進」は7月6日・7日に行なわれました。

伊那市内では1日目は、長谷 高遠 いなつせ 伊那北駅コース。2日目は伊那北駅から南箕輪村へと向かうコースで行われました。

雨の中、昨年よりも多い延べ約500名の参加があり元気に歩き通しました。沿道からの声援や各市町村の代表者の激励のあいさつと募金・ペナントの提供がありました。



通り町を行く行進

この行進は、5月5日北海道礼文島・6月7日奄美大島出発等、全国各地から8月4日の原水禁広島大会を目指しての国民平和大行進の一環として行なわれています。

なるので、別の方向、ゴミ削減の4L、地域主体（Local）、低コスト（Low Cost）、低環境負荷（Low Impact）、最新技術に頼らない技術（Low Tech）に目を向ける時期に来ています」と話していました。

NEC
裁判

小坂前市長らの責任は明確

NEC住民訴訟第4回裁判は、7月12日、長野地方裁判所で行われました。

今回も20名が傍聴に駆けつけました。しかし、伊那市側、NEC側からは誰も参加せず、電話会議になりました。

バスで長野地裁に向かう参加者



内容が、被告側の言い分に食い違いがみえはじめました。NEC側は土地購入の「合意」は

なかったとしているのに、伊那市側は「担当者レベルの合意」はあったが、「売買契約は成立していない」と主張。しかも、市の担当者は、当時の収入役・現市長の白鳥氏です。また、「担当者レベル」ではなく、当時の小坂市長の認印のある証拠書類なども出てきています。

原告団は、市民の巨額の血税を取り戻すために、9月10日(月)の第5回裁判に向け、NEC問題を市民に伝え、絶対に勝たなければならぬと決意を固めています。

窓の
ここにもいじめが
前沢けい子

大津市のいじめによる中学生の自殺事件が社会問題となっている。私の元に寄せられたいじめ問題でも、全く同じ構図が見て取れる。学校と教育委員会にはいじめられている当事者に寄り添う緊迫感が欠如している。加害者にも人権があるという言い回しで、いじめ被害者の人

権が軽んじられ、結果として不登校や引きこもり、ひいては自殺などに追い込まれている。

警察がこれに加担している。伊那署の生活安全課は2度にわたりいじめの被害届けの受理を拒んだ事実がある。

子どもの人権を最も尊重しなくてはならない学校で、このようなことが多発しているのは、教育という言葉は空虚に響く。警察官の不祥事も後を絶たない。教育界も、警察も人権感覚をもっと磨いてほしい。

昭和初期の上伊那

2・4事件の頃 8

一九三三年(昭和八年)におきた2・4事件について、前号から事件を概括した特高警察の文書を掲載してきました。今号ではその続きを見ることにします。

「根底より壊滅の画期的検挙」

「この隙隙に乗じて進展せる左翼組織は農村、工場労働者を席卷し、教員給与問題、欠食児童問題により教員に

触手を伸ばして、未曽有の強大組織と教育界への浸透等容易ならざる事態が出現し、ついに画期的大検挙を見るに至れり。而して本事件はその組織の大なると前例なき教員の大衆赤化等の特質の外、従来の検挙と方針を異にし、将来の発芽的原因となるべき禍根を残さず、影響下分子に至るまで徹底的に除去し、検挙後再建の蠢動を許さず、満州事変後の客観情勢とあいまって、転向への方向を示せる点において昭和八年は本件思想運動上特筆すべきものありといつべし。すなわち運動は大正十二年L・Y事件以来胚胎せる共産主義運動の諸形態を網羅して余さず、又、その検挙はすべてを残さず、根底より壊滅せしめて総決算



昭和初期の小学1年生の国語教科書

を終わりの観あり。2・4事件は本県における画期的検挙とも言つべし。」
以上、特高警察の文書で2・4事件の背景と弾圧の特徴、自画自賛の総括などを見てきました。
2・4事件の検挙者数は十四二人、送局二八一人、起訴九一人、釈放四六一人でした。2・4事件は侵略戦争を進める国家権力によって全国に吹き荒れた弾圧の嵐の一環でした。

転向を強要

それと共に特高の対応にはこれまでと異なったものが見られるようになります。それは転向の強要です。それまでは検挙・釈放後はしばらくおとなしくしていても、そのうちにまた活動を再開する例が少なくありませんでした。なかには数回も検挙された不屈の活動家もいました。(境区 有賀光良)

【欠食児童問題】

一九二九年の世界恐慌などにより、農村の貧困はその極に達し、学校へ弁当を持参できない児童が激増し、弁当の次難も頻発し、傘がなくて雨天に欠席、子守や家事手伝いで欠席する児童も少なくなかった。

【給与・割寄付問題】

当時の教員の給与は市町村が全額負担していたため、給与の減額や不払いが相次ぎ、農村の窮状を救うためとして2割の寄付を強制することも行われた。

伊那谷の
歴史散歩

二年L・Y事件以来胚胎せる共産主義運動の諸形態を網羅して余さず、又、その検挙はすべてを残さず、根底より壊滅せしめて総決算

随想

「あてがいぶち？」を変えていく

高遠町 大場 美広

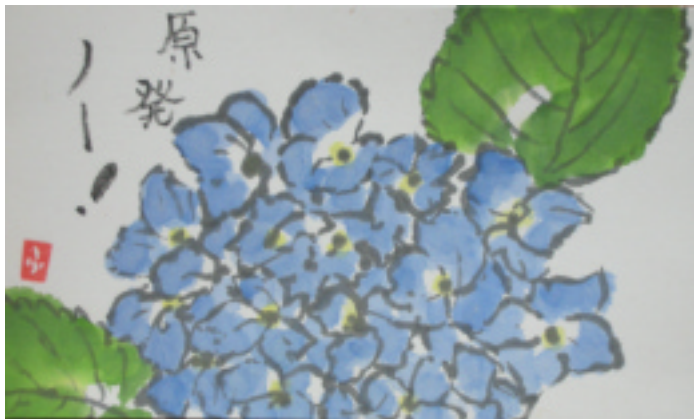
5月号の本欄、北原栄一さんの随想を読んで、思い出したことがある。確か中学2年の頃、近所に新しくできた歩行者用信号機が青だったので渡ろうとしたら車に跳ねられそうになった。信号無視かと思った。車の側も青だった。その形をした三差路に「の形をした三差路に」の様な左折路として信号が付けられていたので、斜め左方へ進む車の前方の信号も、そこを横断する歩行者用の信号も「青」になつてしまふ。交番に出向いて「あてこの信号おかしいよ。」と訴えたが、相手にしてもらえなかった。一三日もたたぬうちに、近所の方がそこで跳ねられて亡くなられた。尊い命が失われてやつと改善された。ちゃんとやったのに！信号などの施設の多くが「あてがいぶち」で作られてしまふ。それどころか、「町」全体もいつの間にか「あてがいぶち」で出来てしまふ様な気がする。もちろん手続きとして、地元の要望もきき、法的にも計画の縦覧などが行われている。しかし、根底に「一々みんなの意見などきいてもらえない」とか「専門家に任せて」という発想が見受けられる。信号など身近な施設については利用者が具体的な要望を出し易いが、伊那市の計画、まして国の計画など、言つ側も大変。



それでも言わなければならないことがある。信号機についてでもそうだが、命にかかわることすべて。原発も、軍事基地やオスプレイの飛行も。うるさかられても一々声を上げていきたい。私たちの生きてゆく舞台の監督は、私たち自身なのだから。

絵手紙

長谷 中島 文子



第3回平和音楽会

- ・8月5日(日) 開演午後2時
- ・いなっせ6階ホール
- ・一般600円 中高生200円
- ・主催：うたごえサークル ざざむし
- お問合せ TEL 94 3594(大場)

日本母親大会in新潟

- ・8月25日(土)～26日(日)
- ・連絡先：上伊那母親連絡会
- 73-5360(山崎)

「異常な土地取得」現場見学会

- ・8月30日(木)午前9時
- 市役所西側駐車場集合
- ・案内人：飯島光豊市議
- ・主催：のぞみの会(74-5826 井口)

催し案内

第26回伊那市民平和のつどい

・8月5日(日)午前10時

平和映画会「一枚のハガキ」

伊那市創造館講堂(旧上伊那図書館)

今年5月に亡くなられた巨匠・新藤兼人監督最後の最高傑作。100人の兵士のうち、たった6人だけ生き残った自身の実体験を元につくられた平和映画。

南信で初上映!

出演：豊川悦司、
大竹しのぶ 他



- ・協力費：大人 1000円
- 学生 500円 高校生以下 無料

・午後6時40分～ 平和灯ろう流し
市役所南側 せせらぎ水路

- ・8月6日(月)午前8時 平和のいのり
・丸山公園(常円寺横)

・主催：非核平和都市宣言をさらにすすめる伊那市民の会
お問合せ：72-9411(宮下)

猫へのご協力ありがとうございました。
あと1匹おります。 飯島光豊